

競技規則 日本語:

サイクルサッカー競技規則

サイクルサッカーは通常 2 対 2 で試合を行います。約 11kg の競技用自転車にはギアシフトもブレーキもありませんが、自転車の制御に必要な、非常に低いギア比 (約 1:1) の固定ギアがあります。また鹿の角のような形をしたハンドルと、後方に取り付けられたサドルが特徴です。チューブラタイヤは約 7~10 バールが適正圧となっている体育館用のものを使います。ボールは比較的小さく、重さは 500~600g、直径 17~18cm で、表面は布製で、中は鹿の毛が詰められています。試合は前半 7 分、後半 7 分です。競技場は幅 11m、長さ 14m で、高さ 30cm のサイドボードに囲まれています。サイクルサッカーのゴールは高さとも幅とも 2m です。その前には半円形のペナルティエリアが描かれています (半径 2m)。サッカーと同様に、コーナーキック、サイドアウト、ゴールキック、フリーキック、ペナルティキックがあります。ボールはオープンサイド (=相手の前輪が邪魔にならない側) からのみ取りに行くことができ、ボールを取るために選手や自転車を押すと反則になり、フリーキックにより罰せられます。ペナルティエリアの中には最大で 1 人の攻撃側選手と 1 人の守備側選手が入ることができ、ボールがその中にある場合にのみ、攻撃側選手は相手のペナルティエリアに入ることができます。ペナルティエリアで防御側選手は、両足がペダルに触れ、ホイールの接地面がペナルティエリア内にあるときに限り、手でボールを扱うことができます。ペナルティエリアでの反則は常に 4 メートルのペナルティキックで制裁されます。防御側選手が 2 人ともペナルティエリアに入った場合も、4 メートルのペナルティキックとなります。ボールは少なくとも片方の手がハンドルに、そして片方の足がペダルにある状態でのみ、自転車またはボディ (手と腕なし) で扱うことができます。選手が地面に足を着いたり、転倒するなどして地面に触れたりした場合 (またはサイドボードやゴールに寄りかかった場合)、選手はプレーする資格を失います。プレーする資格を失った状態で積極的にプレーに介入すると 4 メートルのペナルティキックで罰せられます。プレーする資格を取り戻すためには自陣のゴールラインまで戻る必要があります。

競技規則全文:

https://static.rad-net.de/html/verwaltung/reglements/regl-zweier-radball_2018.pdf

